



高速しが

令和3年
(2021)
5月号

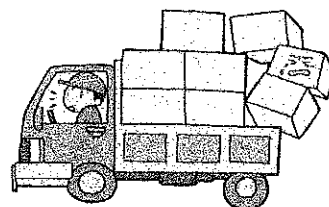
発行 滋賀県高速道路交通安全協議会・滋賀県高速道路交通警察隊

積み荷の落下に注意!

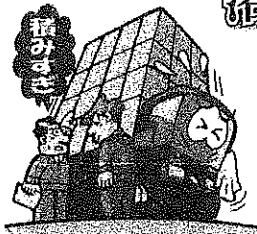
昨年県内の高速道路での落下物は5119点あり、その内乗り上げが原因の事故は182件発生していますが、ドライバーは落としたことに気づかないことが大半です。特に多い落下物はシート類・木材類・自動車部品・脚立です。

落下物は落とし主の責任です。

出発前の積み荷のチェックはもちろん、長距離運送するときには、休憩時以外にもSA・PAで必ず積み荷の再点検をしてください。



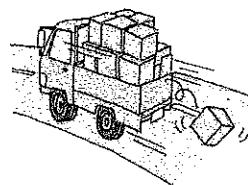
落下事故を起こさないためのポイント



- ◎ 積み荷をしっかりと固縛する。
- ◎ 過積載や積載制限(長さ・幅)を絶対しない。
- ◎ 急ハンドルや急ブレーキ操作をしない。

落下物を発見したら

高速道路走行中に落下物を発見したときは、道路緊急ダイヤル「#9910」または警察「110」で通報してください。



- ◎ 通報は、携帯電話、スマートフォンからも可能ですが、走行中は必ず同乗者の方が通報してください。
- ◎ 運転者のみの場合は、料金所の係員か最寄りのSA、PAから通報してください。

シートベルト 忘れずに全席着用！



後部座席シートベルト非着用の危険性

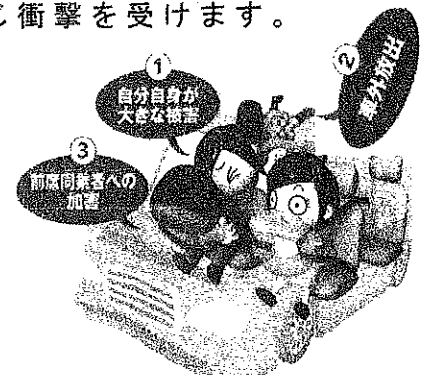
「自分だけは大丈夫」「後部座席だから必要ない」「事故に遭ってもそんなに大きなケガなどしないはず」などと思っているアナタ・・・それは大きな間違いです。事故に遭ってから「あのとき着用してれば良かった」では遅いのです。事故に遭ったときあなたに襲いかかる3つの危険について覚えておきましょう。

① 車内で全身強打する可能性があります。

事故の衝撃で、あなたはすさまじい力で前席や天井、ドア等にたたきつけられることとなります。仮に、時速90Kmで進んでいる車が壁等に激突した場合、32m（ビルの10階相当）の高さから落下するのと同じ衝撃を受けます。

② 車外に放り出される可能性があります。

衝突の勢いが激しい場合、後席から車外に放り出されることがあります。車外に放り出されると、堅いアスファルトに体をたたきつけられたり、後続車両にひかれることで、最悪の場合は命を落としてしまいます。



③ 前席の人が被害を受ける可能性があります。

衝突の勢いで後席の人が前方に投げ出されると、前席の人はシートとエアバッグではさまれ、頭に大けがを負うなどにより命を奪われることもあります。

逆走は命にかかわる危険な行為です。

逆走は自分だけでなく、交通ルールを守って走行する他人をも巻き込む危険な行為です。

インターチェンジやサービスエリア等から本線に進入するときは、路面標示(矢印)や標識を十分確認して、安全運転に心がけましょう。



注意看板

逆走



危険